

第3回ワークショップ 必要な場所～学生にとって

- 特に中心市街地を訪れてほしい「若い人」にとって居心地が良く必要な場所について検討されました。
- まず学生については、学生たちだけで集まって自由に過ごせる場所が必要と考えます。同世代で集まり、おしゃべりする、軽食を取る、勉強する、運動する場所が必要です。
- また、ここでしかできない体験を提供することや、イベント等に参加し友達と楽しむことができる時間を提供することも考えられます。
- さらに空間のデザイン“おしゃれさ”の必要性も指摘されました。

グループ	学生にとって居心地のよい・必要な場所
1班	<ul style="list-style-type: none">• 若者だけで過ごせる（おしゃべり、軽食を取る等）場所• デートできるようなおしゃれな場所がいい
2班	<ul style="list-style-type: none">• 友達と過ごすことができる場所• 風呂、図書館、喫茶スペース、運動できる場所など
3班	<ul style="list-style-type: none">• 高校生はたまり場• 小学校低学年は体を動かして遊べる場所や特別な体験ができる場所
4班	<ul style="list-style-type: none">• 友達と集まって自由に過ごせる（飲食、勉強、イベント、運動など）場所

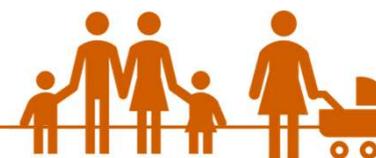


- **こどもたち・学生たちの居場所づくり**

第3回ワークショップ 必要な場所～子育て世代・壮年世代

- 子育て世代や壮年世代にとっては、子どもを安全に遊ばせながら、親同士でもくつろいだり交流できる場所が必要です。特にコミュニティを必要としている町内の母親にとって居心地のよい場所が必要と考えます。
- また、子育てに関する相談サービスなど、暮らしのサポートが得られる場所も必要です。

グループ	子育て世代にとって居心地のよい・必要な場所
1班	<ul style="list-style-type: none">• 小さな子どもを安全に遊ばせられるような場所• 母親が心地よく過ごせる場所
2班	<ul style="list-style-type: none">• 屋内で子供を遊ばせつつ、親（特に母親）同士で交流したり、情報交換したりできる場所
3班	<ul style="list-style-type: none">• 子供が行きたがり、かつ親も楽しく過ごせたり、互いに交流できたりする場所
4班	<ul style="list-style-type: none">• 子供を遊ばせることができ、かつ親同士もゆっくりしたり、話したりできるような場所



- **こどもたちを遊ばせられる**
- **親たちも交流できる**

第3回ワークショップ 経済活動～誰が？

- 地域経済の活性化や持続的な地域・施設の実現のためには、町民が集い活動することと同時に、中心市街地や営林署跡地で経済活動が行われることも重要です。
- 営林署跡地で何らかの施設を整備する場合、原則として利用者全員がお金を払い、将来に過度な負担を残さないことが必要です。また観光客等の町外からの利用者を誘導し経済活動を促すことも目指します。
- ただし、利用者として重視する子どもや若者については一定の割引・減免を行うことも検討します。また町外からの利用者と町民利用において料金設定に差をつけるなどの工夫も考えられます。

グループ	誰がお金を払うのか？
1班	<ul style="list-style-type: none">• 利用者がお金を払うべき• 町民は割引価格でいいのではないか、子供は安価／無料で利用できるようにしてはどうか
2班	<ul style="list-style-type: none">• 町民もお金を払うべきだが、稼ぐことのメインは町外の人• 運動施設は子供・学生無料
3班	<ul style="list-style-type: none">• 「使った人が利用料を払う」という考えをとりつつも、町民は割安に利用できるようにしてはどうか• 学生については配慮すべき
4班	<ul style="list-style-type: none">• 将来に負担を残さないため、町民も含めて料金を払うべき

- **利用者全員がお金を払うべき**
- **町民（特に子供・学生）は安価に利用できるようにする**
- **町外からの利用者や観光客からの収益も重要**

第3回ワークショップ 経済活動～何に？

- 経済活動の対象（対価を支払う対象）については様々なものが考えられます。
- 基本的には利用できるすべての施設・機能が経済活動の対象となります。その中でも利用促進や収益性の観点から、有料／無料の部分を適切に区別することや、入場は無料にしつつ各機能の利用やスペース貸し出し、イベント参加費などを有料にすることが考えられます。
- いずれにせよ、むやみに無料にせず、持続可能な場の運営・経営を意識すべきです。

グループ	何にお金を払うのか？
1班	<ul style="list-style-type: none">• 利用できる機能すべてについてお金を払うべき• 子供については検討が必要
2班	<ul style="list-style-type: none">• ジムや風呂について、町内の学生等に配慮しつつ料金を徴収すべき
3班	<ul style="list-style-type: none">• お金を払う部分と払わない部分を区別してはどうか• 入場自体は無料としつつ、各機能の利用や飲食、イベント時のスペース貸切については料金を払うなど
4班	<ul style="list-style-type: none">• 施設の維持費は確保すべき• 飲食・施設利用・イベント参加費等を徴収する